

# CS 3000 R3 の進化

## CENTUM 3000 R3

統合生産制御システム CENTUM CS 3000 R3(以下 CS 3000)は、市場の要求に沿って、新しい技術を積極的に取り入れることで成長してきましたが、「高い信頼性」、「小規模から大規模までシームレスなシステム構築」、「容易なエンジニアリング」、「長期間にわたる安定供給と保守」が重要であることに変わりはありません。新リリース Revision3.06 により、従来の特長との互換性を維持しながら、市場要求であるシステムの柔軟性とオープン性を備えた最新の生産制御システムへ、更なる進化を遂げました。

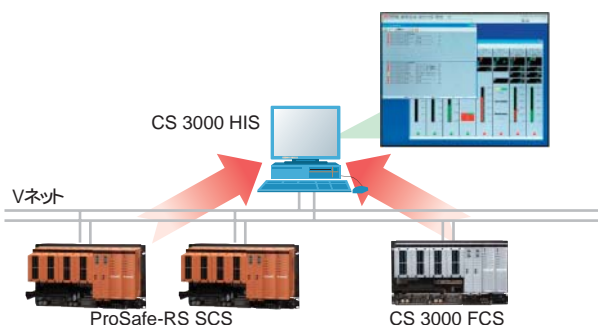
### [主な特長]

#### 新安全計装システム ProSafe-RS と連携

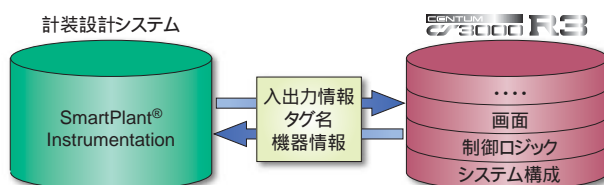
新安全計装システム ProSafe-RS と CS 3000 を、同一制御ネットワーク上で密に結合することができます。

ProSafe-RS のコントローラ(以下、SCS)を CS 3000 の制御ネットワークである V ネットに直接接続し、HIS から、CS 3000 の FCS と同様に操作監視できます。HIS の各操作監視ウィンドウ上では、両システムのプロセスデータやメッセージ、システム状態などを混在表示させ、統合的に操作監視することができます。

また、ProSafe-RS の SCS と CS 3000 の FCS の両コントローラは、共通アーキテクチャを使用しているため、収納キャビネットの共通化、ユニットの共通化、ハードウェアの保守手順の共通化が可能です。また、コミュニケーションゲートウェイ(CGW)、バスコンバータ(BCV)、リピータなどの V ネットコンポーネントも共用できますので、ProSafe-RS の分散配置を容易に行えます。

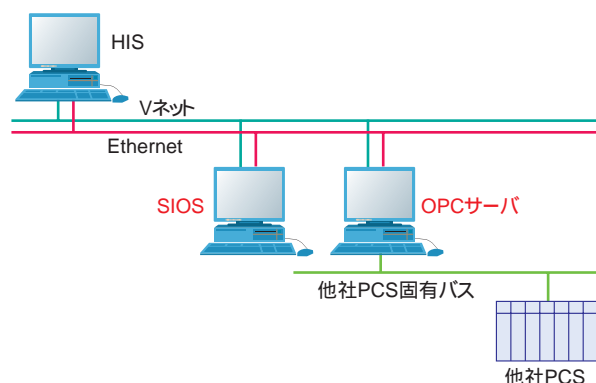


SmartPlant® Instrumentation(SPI)とのデータ交換業界のデファクトスタンダードである Intergraph 社の計装設計ツール SPI(旧称 INtools)と CENTUM CS 3000 R3 のビルダ機能間で、連携を図ります。いずれか一方でデータ定義や修正を行った場合でも、双方向にデータの交換(等値化)が行えるため、定義情報の二重入力や修正漏れを回避することができ、エンジニアリング効率の向上が図れます。



#### システム統合 OPC ステーション(SIOS)

SIOS(System Integration OPC Station)は、他社システムを統合するためのステーションです。OPC サーバを経由して、DCS や PLC など他社システムのプロセスデータのアクセス、およびアラームやイベントメッセージの収集を行うことができます。SIOS は、OPC Foundation(OPC インタフェースの仕様策定を行う、国際非営利法人)が規定したインタフェースの仕様に基づき、OPC サーバとやりとりを行います。他社システムに対応した OPC サーバを用意することで、様々なシステムに対して、データアクセスが可能となります。



問い合わせ先：IA 事業部システム事業センター PAsPMK 部  
TEL：0422-52-5634  
FAX：0422-52-9802  
E-mail：centum@cs.jp.yokogawa.com

\* Intergraph, INtools および SmartPlant は、Intergraph 社の登録商標です。